

伊集院保健所感染症情報

2025年第10週（令和7年3月3日～令和7年3月9日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第7週	第8週	第9週	第10週	先週からの増減	第9週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.80	2.00	0.60	0.20	↘	1.22	↘
COVID-19	—	—	—	5.20	2.00	4.00	1.60	↘	3.15	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	0.33	1.00	1.67	0.33	↘	1.04	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.67	3.67	3.00	3.00	→	2.88	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	7.67	11.67	8.67	6.67	↘	16.80	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.36	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.04	→
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.34	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	1.67	2.33	1.33	1.33	→	1.64	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC 海外旅行時に気をつけること

海外では、国内に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されており、海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けることが重要です。

○食べ物や水を介した消化器系の感染症（A型肝炎，腸チフスなど）

- ・食事は十分に火の通った信頼できるものを食べる。生水・氷・カットフルーツの入ったものは避ける。
- ・雨季の地域では、水で媒介される感染症（レプトスピラ症やE型肝炎，コレラなど）に注意する。

○蚊を介した感染症（デング熱，マラリア，日本脳炎，黄熱病など）

- ・病原体を媒介する蚊が生息する熱帯・亜熱帯地域では、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用する。

○動物を介した感染症（狂犬病など）

- ・動物についてもどのような病原体を持っているか分からないことが多いことから、むやみに動物に近づかない，動物に触れない。

○人から人に広がる感染力の強い感染症（麻しん，風しんなど）

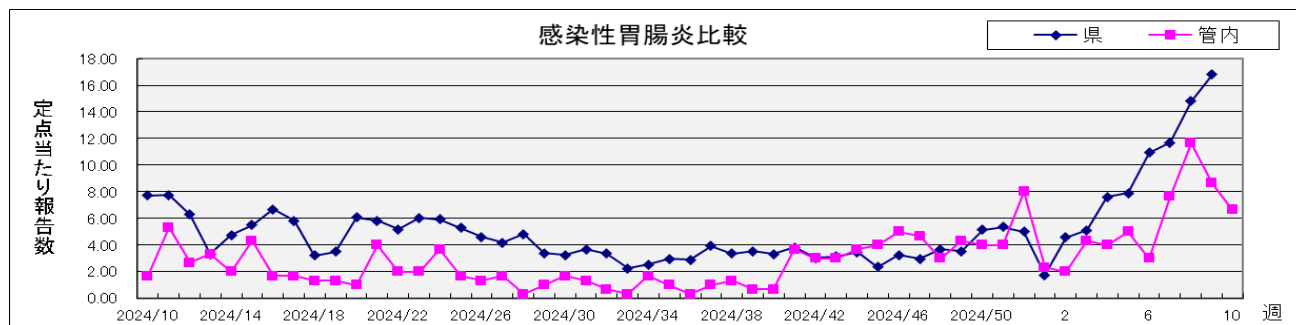
- ・咳や発熱，発疹など，なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避ける。

※海外で流行が報告されている麻しんが，国内に入ってきた事例も報告されているので注意する。

旅行後に体調が悪くなったら，医療機関を受診し，渡航先や滞在期間，現地での飲食状況，ワクチン接種歴などについて必ず伝えましょう。麻しんが疑われる場合（高熱，全身の発疹，咳，鼻水，目の充血等）は，受診前に医療機関に必ず電話しましょう。

● 注意すべき感染症

・ 感染性胃腸炎



第10週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の26人（定点当たり8.67）から6人少ない20人（定点当たり6.67）でした。年齢別では、20歳以上（6人）、1歳・10～14歳（各4人）、3歳・8歳（各2人）、2歳・9歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、年間を通して流行します。

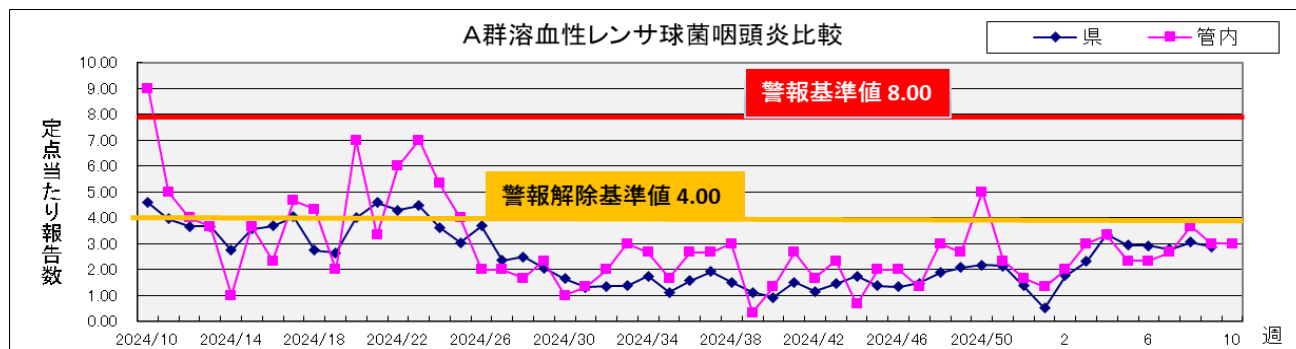
原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫などもあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は1～3日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、有症期間は平均24～48時間です。

感染予防としては、トイレの後、調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ノロウイルス等の便やおう吐物を処理する時は、次亜塩素酸ナトリウム液を用い、手袋、マスク、エプロンを着用し、処理しましょう。なお、カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



第10週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、前週の報告数と同じ9人（定点当たり3.00）でした。年齢別では、5歳（4人）、4歳・10～14歳（各2人）、3歳（1人）でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛まつ感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況3/3～3/9（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第10週の出席停止については、感染性胃腸炎が5人、溶連菌感染症1人、マイコプラズマ感染症4人、ヘルパンギーナ1人、COVID-19が1人報告されています。

疾患名 自治体名	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	ヘルパンギーナ	新型コロナ感染症
日置市	2	1	4	1	0
いちき串木野市	3	0	0	0	1
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	5	1	4	1	1